

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

| 学校名 | 埼玉県立浦和西高等学校 | | Aグループ |
|------------|--|--|-------|
| 項目 | 調査の観点 | 取組状況に関する所見 | |
| 目指す学校像 | 目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。 | 創立80周年を機に策定した学校グランドデザイン「UNプロジェクト80」等を踏まえ、学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。今後も常に検証を行い、学校に寄せられる期待に十分応え、進化する西高の姿を示すものに工夫できると更に良い。 | |
| 重点目標 | 学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。 | 前年度のものから一層重点化が図られ、取り組むべき課題を具体的に示すとともに日々の教育活動の指針となる目標になっている。目指す学校像の実現に向けて「第一志望を実現する」「地域に信頼され貢献できる」「自ら考え行動できる」といった文言が織り込まれ、意欲的な目標となっている。 | |
| 重点目標達成への取組 | 重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。 | 学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。自ら考えることのできる生徒の育成に向けて「西高CAN-DOリスト（到達度目標）」を作成し、実際に活用することにより各教科、学年等が連携しながら目標達成を目指すなど意欲的な取組が行われている。 | |
| | 方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。 | 前年度に比べ、方策及び評価指標が整理されており、組織的・計画的に方策を実施している。当該の年度を通じて重点的に行う改善を促進し、方策の妥当性を検証できるように、生徒の変容や授業の質の変化等にも着目した定性的評価を加えるなどの工夫があると更に良い。 | |
| | 校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。 | 校長が明確な学校経営の方針を持ち、企画委員会、職員会議において教職員の共通理解を図るとともに状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を示している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。 | |
| | 学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。 | 次年度への課題と改善策を踏まえて、評価項目の設定を行うとともに、前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を有効に活用し、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。 | |
| 特記事項 | | | |